

2025年度

第38回 キッチンスペシャリスト資格試験

実技試験問題用紙

試験日：2025年12月7日

試験時間：12:30～15:00 (150分)

試験上の注意

1. 受験票は、受験番号記載面を外にして三つ折りにし、同面を上にして机上（原則として通路側）に置いてください。
2. 試験開始前に問題用紙（I部）、解答用紙（1枚）があることを確かめてください。試験開始直後に下書き用紙（1枚）があることを確かめてください。不足があれば速やかに手をあげて試験監督員に申し出てください。
3. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
4. 解答用紙に受験タイプの「総合」または「実技」のいずれかを○で囲み、受験番号と氏名を記入してください。
※解答用紙提出前に、受験タイプ、受験番号、氏名の記入もれが無いかをご確認ください。
5. 試験中に使用できるものは、筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、字消し板、直定規（30cm以内）、三角スケール、ヘキサスケール（直定規と三角スケールの機能のみを持つもの）および電卓です。
6. 上記5. に掲げるもの以外（例えば万年筆、ボールペン、砂消しゴム、電動字消器など）の使用を禁止します。
7. 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外の一切にお答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて試験監督員に申し出てください。
8. 試験開始から90分以内および試験終了5分前以降は退出を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を試験監督員に手渡して、静かに退出してください。なお、試験開始時刻を繰り下げて実施する場合は、90分以降も退出を禁止する場合があります。
9. 問題用紙および下書き用紙は持ち帰ってください。
10. この試験問題を販売すること、または、無断転載および複製複製（コピー）することを禁じます。

公益社団法人 インテリア産業協会

プレシニア夫婦と一緒に調理しやすいキッチン

*プレシニアとは一般的に50～64歳（定年前の年齢層）をいう。

60代前半の夫婦は、子どもたちが社会人となり独立したので、30年暮らした戸建て住宅（木造2階）のリフォームを考えています。家で共に過ごすことが多くなるとわれ、夫婦共有と個々の生活の時間を大切にしたいLDと、一緒に調理作業しやすいKを提案して欲しいとの依頼を受けました。

そこで、【施主の暮らしと要望】を前提に、【計画条件】に沿ってK、D、L空間を計画し、【問題】に従って【解答欄】に施主の要望に応じたプレゼンテーションを作成しなさい。

なお、解答にあたっては、未記入の部分が生じないように注意すること。

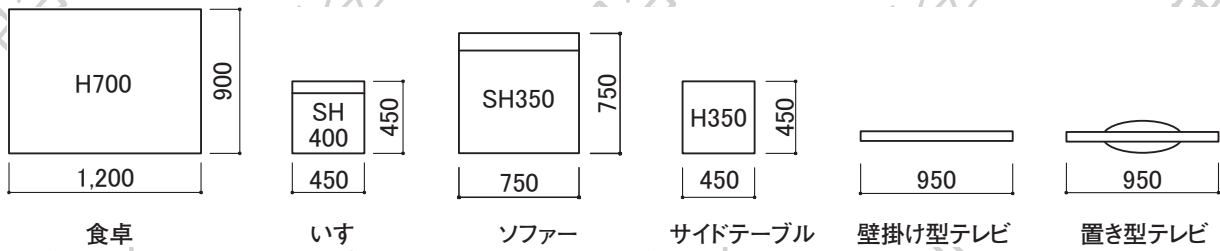
(注) 文中のK、D、Lはキッチン、ダイニング、リビングを示す。

【施主の暮らしと要望】

- (1) 夫婦共に地方公務員で、リタイア後は培ってきた経験や知識を活かして地域に密着した仕事を続けながら、夫婦の時間と個々の時間を大切にしたいと考えている。
- (2) 空いた子ども室などを夫婦それぞれの居場所とし、テレビ、PC作業、趣味、就寝は個室で行い、LDKでは共有の時間を大切にしたい。
- (3) 夫婦と一緒に調理できるように、作業がしやすく動きやすいKを希望する。
- (4) ライフステージの変化に伴い物を整理し、食器収納はコンパクトにする。
- (5) 食材は週末にまとめて購入する。
- (6) 炊飯器、電子レンジ、ケトルなど調理家電を活用し、和食中心で身体に優しい食事作りを心がける。
- (7) 友人を招き少人数でティータイムを過ごしたい。

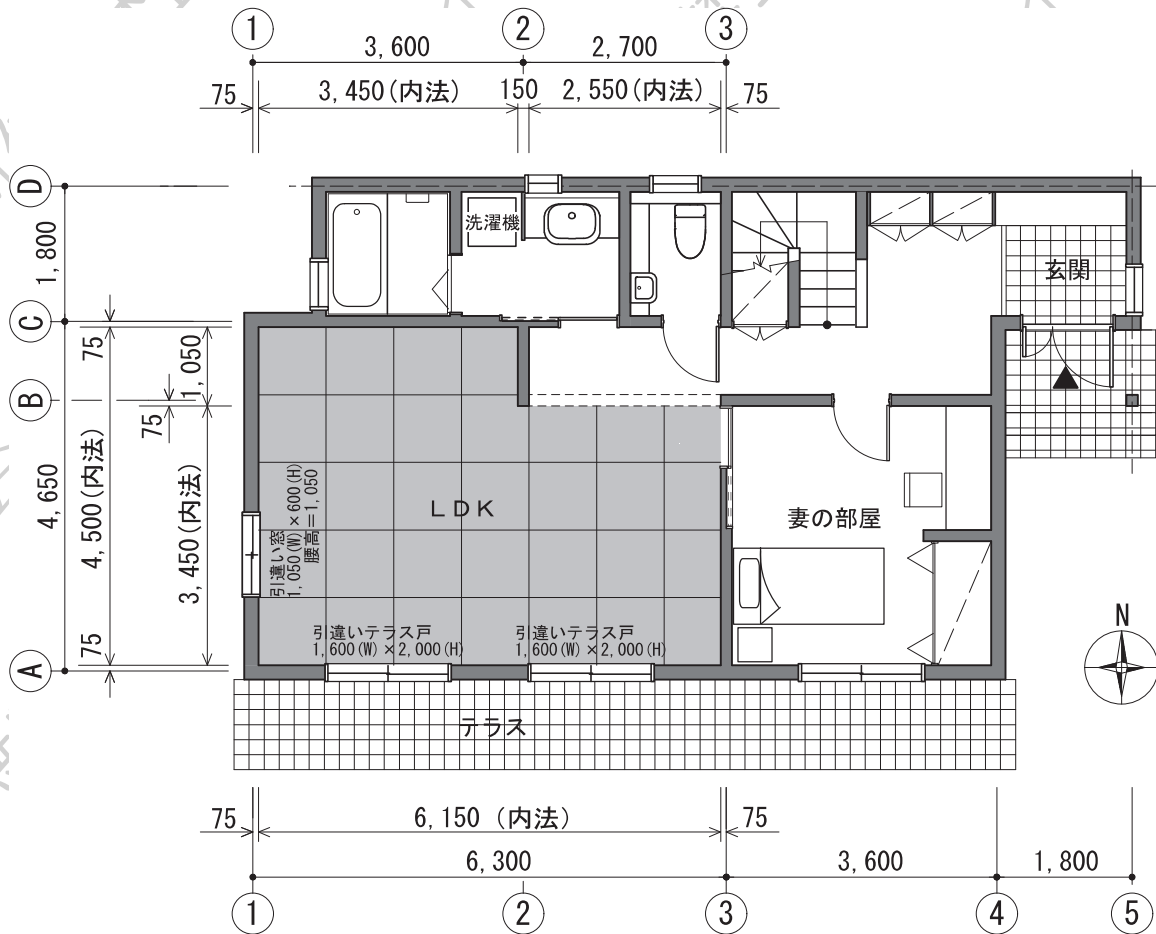
【計画条件】

- (1) 冷凍冷蔵庫、食品収納、食器収納は、夫婦の暮らしと要望に沿った大きさと配置を計画する。
- (2) 食器洗浄機をシンク隣に設ける。
- (3) 調理家電置きカウンター (W900以上) または家電収納用キャビネット (W600以上) を設ける。
- (4) ゴミの分別用にゴミワゴンを設ける。
- (5) 次図の食卓、いす4脚、ソファー2台以上、サイドテーブル1台以上、テレビ (壁掛け可) を設ける。
- (6) その他の家具は考慮しなくてよい。



【空間条件】

- (1) 住戸 (1階) は下図に示す平面図 (S=1:100) である。
- (2) 計画の範囲は、LDKの網掛けおよび二重破線の部分 (-----) である。



【問 題】

1. 夫婦と一緒に調理しやすいKのレイアウトを、機器の配置を含めてどのように考え工夫したのか、解答欄【1】に100字以上～150字以下で述べなさい。

1マス1文字を基本とするが、算用数字は1マス2桁、アルファベットの大文字は、1マス1文字、小文字は1マス2文字とする。

2. K、D、Lの平面図を解答欄【2】に示しなさい。

- (1) 二重破線部 (-----) に、壁・建具を描きなさい。その他の壁・建具は変更できない。
- (2) 施主の要望と計画条件、空間条件に沿って計画したKの機器・部材を配置し、キャビネットの個々の寸法、および合計寸法を記入しなさい。
- (3) 次の機器・部材については、それぞれの名称（略号可）と寸法（W×D）を記入しなさい。冷凍冷蔵庫（RF）、食品収納（FS）、食器収納（CB）、食器洗浄機（DW）、ゴミワゴン、家電収納または家電置きカウンター、電子レンジ（MO）
- (4) ワークトライアングルを破線で示し、各辺の長さとして3辺の合計寸法を記入しなさい。
- (5) KとD周りの通路幅を記入しなさい。
- (6) 食卓、いす4脚、ソファ2台以上、サイドテーブル1台以上、テレビ（壁掛け可）を配置し実線で描きなさい。

＜作成上の留意点＞

- a) 二重破線部分に壁を設けた場合は、黒く塗りつぶすこと。
- b) 機器・部材（施工補助部材を含む）の形状と寸法、名称（略号）は、「機器・部材表」（p.5）から選択する。
- c) 特注品を用いる場合は、図中に名称、寸法と「特」を明示する。
- d) いすはすべて引き出された状態で描く。
- e) 造り付けでない独立家具を壁に接して置く場合は、壁と家具を離して描く。

3. Kの展開図を解答欄【3】に示しなさい。

- (1) 壁中心線の通り芯とその通り符号を記入し、床・壁・天井の断面線は太い実線で描きなさい。
- (2) 機器・部材（収納・施工補助部材）を含むすべての面の展開図を作成しなさい。描ききれない場合は、重要度の低いものは省略線を用いて省略してもよい。
- (3) 表示した機器・部材（施工補助部材を含む）は、品番、見付寸法（W、H）とその合計寸法を記入しなさい。
- (4) 展開方向を示す図面名称（北側展開図など）を各展開図の下部の見やすい位置に記入しなさい。

＜作成上の留意点＞

- a) 天井面（FL+2,400）より上、床面（FL±0）より下は示さなくてよい。
- b) 展開図の外に寸法が記入できない場合は、図中に書き込んでよい。
- c) 特注品を用いる場合は、図中に名称、寸法と「特」を明示する。

4. Kの透視図を解答欄【4】に示しなさい。

- (1) Kの特徴を表現できる方向を選び、パースガイドを用いて描きなさい。
- (2) 透視図はシンク、水栓金具、コンロ、レンジフードを含めて描きなさい。
- (3) Kを見る方位を含む透視図名（北側を見る透視図など）を記入しなさい。

＜作成上の留意点＞

- a) 床、壁、天井、幅木、建具などを描きなさい。
- b) 食卓、いす、ソファは描かなくてよい。
- c) パースガイドは、室の床、壁、天井面にグリッド（300×300）を示した「透視図を描く定規」である。必要に応じて増減してよい。